

## 令和2年度 “赤い羽根”地域福祉促進助成事業 申請書

令和 2 年 6 月 1日

社会福祉法人 焼津市社会福祉協議会 会長 様

助成希望団体名	名 称 焼津福祉文化共創研究会 代表者名 平 田 厚 ㊞
所在地 (事務局)	〒 425-0044 焼津市石津向江町15-17 デイサービス百の木石津内 TEL: 054 - 623 - 3665 FAX: 054 - 656 - 3731
連絡先	〒 425-0044 焼津市石津向江町15-17 デイサービス百の木石津内 TEL: 054 - 623 - 3665 担当者名: 望月隆仁

地域福祉促進助成事業助成金を受けたく関係書類を添えて申請いたします。

記

助成希望額 100,000円(千円未満切捨て)

## 添付書類

1. 会則や規約、事業計画等、団体や活動の様子が分かる資料(自治会・町内会は不要)
2. 機器整備の場合は、見積書、カタログの写し
3. 必要に応じて現状写真。(現状のものを買替える場合等)

上記以外に、本会が必要と認めた資料を提出いただく場合があります。

注意：本申請書及び添付書類の内容は、個人名を除き一覧表を作成し審査資料として利用します。  
本申請書及び添付書類は、情報公開の対象となります。(ホームページを含む。)

提出期限(締切り)：令和2年6月30日(金)午後5時 ※必着

## 申請する事業の計画

申請事業名	<b>港地域の福祉課題を「見える化」する ご近所福祉の意識と実態を検証</b>	
現状 ・今問題になっていること	<p>これまで、地道に構築されてきた「福祉コミュニティ」は、公助（介護保険制度 20 年）のもとに、全てが制度（介護の社会化）により解決する地域社会の意識が強い。しかし、公助の仕組みが十分に理解できる地域社会には至っていない。</p> <p>これまで、地域住民が、自ら地域の福祉課題を基に、明日は我が身と、取り組んできたボランティア・地域活動をこれからの地域づくりに改めて、復活していくことが求められている今日とも受け止められる。今日的な社会動向（新型コロナウイルス感染社会）のもとで、地域の支えあいの難しさや住民同士が孤立することさえ余儀なくされている今こそ、これからの新たな「共創・共生社会」の実現を考えていくことが求められる。</p>	
申請事業の 内 容	<p>●対象事業</p> <p>①地域の支え合いやネットワークづくりを行うための事業</p> <p>②地域福祉に関する講座や勉強会等の開催事業</p> <p>●申請事業内容</p> <p>本事業は、約5,000世帯をもって組織化された「港地域づくり推進会」（第14・23自治会）管内における「港地域の福祉課題を“見える化”する—ご近所福祉の意識と実態調査—実施事業」に取り組み、その結果を「報告書」としてまとめるとともに、管内において「検証・報告研修会」を開催する。</p> <p>(1) 真の助け合いは、地域ぐるみで住民主体として「調査研究部会」を設置し、わかり易い「30程度の調査項目」「調査個票」「調査データ入力・分析」「考察」を分担して取り組む。</p> <p>(2) 「見える化」するために「調査報告書」として編集をする。</p> <p>(3) 調査に協力いただいた関係者をもとに「検証報告研修会」を開催する。</p> <p>(4) 浮き彫りになった「地域課題」解決に向けた提言と実現に向けた取り組み。</p>	
効果 ・事業を実施することで 良くなること	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本事業を通じて、関係機関・団体等との協働（専門性と市民性の融合）より、港地域づくりの基盤体制の基礎と連携（ネットワーク化）をもとに「共創社会実現」を試みることができる。</li> <li>2. 「公助」と「共助」の相互理解を深め合う。</li> <li>3. 管内の福祉課題を「見える化」することで、改めて、住民一人一人が地域づくりに関心を持つことが期待できる。</li> <li>4. 今日的な社会の動向を教訓として、これからの地域づくりへの積極的な参加を期待できる。</li> <li>5. 地域住民に対して、身近な地域活動に関する情報提供の機会が出来る。</li> <li>6. 多様な福祉ニーズが浮上している今日にあって、地域力をもって、課題解決につなぐことができる。</li> </ol>	
対 象 者	<p>■市民全般    ■児童青少年</p> <p>■高齢者      ■その他</p> <p>■障害者      (      )</p>	<p>地域づくり推進会管内住民対象 及び関係団体・グループ等</p>

開催日時	5月から2月の期間		
開催場所 (設置場所)	港地域づくり推進会管内全域及び本会事務局及び北川原公会堂（5月から2月の期間）		
資金計画 ・助成希望額は、総額の <u>80%以内(上限 10万円)</u> です。	経費の内訳 ・事業費の場合は、 <u>概算金額</u> でご記入下さい。 ・機器整備費の場合は、 <u>品名</u> をご記入下さい。消費税も対象です。		
項目	金額	経費項目・品名	金額
助成希望額 (千円未満切り捨て)	100 000円	会議費	6 000円
収益金 (参加費等)	円	役務費	14 000円
		消耗品費	35 000円
その他 (自己資金)	25 000円	印刷費	70 000円
			円
事業費総額	(ア) 125 000円	合計	(イ) 125 000円
■(ア)=(イ)です。			

■書式のデータが必要な場合は事務局へお問合せいただくか、ホームページ、ブログコーナーからダウンロードが可能です。

社協使用欄	対象事業区分	過去助成歴	その他